

平成 28 年度農業後継者特別支援事業

事業主体名 鹿児島県立農業大学校農学部果樹科

1 目的

本県において、施設果樹栽培（ハウスみかん、不知火、キンカン、マンゴー）で天敵を活用した防除が普及されつつある。

本校でも平成 25 年度から研究プロジェクトで、マンゴーとハウスみかんの栽培において、天敵（スワルスキーカブリダニ）を活用し、マンゴーではチャノキイロアザミウマ、ハウスみかんではミカンハダニの防除の検討を重ねてきた。その結果、マンゴーでは芽かき処理との組み合わせで天敵の定着やチャノキイロアザミウマの発生・被害が抑えられようになった。

しかし、ハウスみかんでは天敵の定着が悪く、改善が必要であり、また、本県の産地でも同様な課題がある。

そこで、今回は温度や湿度などの環境変化や散水、化学農薬散布などの影響から天敵を保護すると同時に、天敵を増殖して長期間放出する特長を有する天敵の増殖資材である「バンカーシート」を活用した防除方法を検討する。

2 実施状況

(1) 天敵の定着調査

3月24日に1回目の調査を行った。バンカーシート区では1葉当たり0.05頭、慣行区では0.03頭確認できた。

マジックテープによる調査ではバンカーシート区で1日当たり1トラップで0.5頭、慣行区で1.3頭確認できた。

(2) ミカンハダニの発生状況調査（葉のミカンハダニ雌成虫頭数調査）

放飼時の3月13日は、バンカーシート区で1葉当たり0.03頭、慣行区で0.04頭確認でき、ゼロ放飼とはならなかった。

3月24日の調査ではバンカーシート区で1葉当たり0.6頭、慣行区で1.17頭とやや増えてきた。

3 今後の課題、取り組み

天敵の定着、ミカンハダニの発生状況の継続調査および加害状況調査（果実の加害状況調査）、温度・湿度調査（ハウス内及びバンカーシート内の温湿度調査）、薬剤散布実績調査を予定している。



バンカーシートのセット



バンカーシート設置状況